

質問に対する回答について  
工事名) 秋田自動車道 土洩工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	設計図(9/12) 図面番号 15/81 仮設階段工詳細図(1)の数量表より、階段本体材料は、「階段幅 750mm の材料を 2 枚連結させる材料」と、「1 枚で階段幅 1500mm となる材料」のどちらをお考えでしょうか。ご教示願います。	設計図記載のとおり、「1 枚で階段幅 1500 mm となる材料」です。
2	設計図(11/12) 図面番号 25/31 パイプライン工 管継手詳細図で、中間継手(EF 方式)、30° 曲管継手部、45° 曲管継手部、90° 曲管継手部の EF ソケット使用部には、中間継手(BF 方式)同様に、融着接合による管接合を行うと考えてよろしいでしょうか。 また、当該項目の金抜設計書単価表番号 289 パイプライン工には、これら融着接合の費用は計上されていると考えてよろしいでしょうか。併せてご教示願います。	そのとおりです。 融着接合の費用もパイプライン工に含むものとしてお考えください。
3	特記仕様書 P82 30-37(2)先行ボーリング A について、作業時間帯は、昼間作業をお考えでしょうか。特記仕様書 P14 12-3 夜間作業のトンネルの施工に含まれると理解すればよろしいのでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
4	特記仕様書 P82 30-37(2)先行ボーリング A について、週休 2 日による現場閉所の対象となるのでしょうか。ご教示願います。	週休 2 日による現場閉所の対象となります。

5	<p>特記仕様書P82 30-37(2)先行ホーリング Aについて、ホーリング方式は、二重管方式、単管方式のどちらをお考えでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
6	<p>設計図(5/12) 図面番号28/82の相野々橋(上り線)A1橋台の土留工について、該当項目の金抜設計書には、柱状図より泥岩根入れ部で、最大換算N値 <math>1,500 \div 14\text{cm} = 107</math> 回に対応した、土留打込工法の費用が含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>設計図(5/12) 図面番号 28/82 相野々橋(上り線) A1 橋台 土留工詳細図 (1)の地盤条件※2に記載のとおり、鋼矢板先端の最大N値はN=107です。 上記、現地条件を踏まえ当該単価項目に含まれるものとしてお考えください。</p>
7	<p>特記仕様書 P42 30-6 構造物掘削 特殊部 A1 の区分内容の 2), 3) の記載内容は、空頭制限のある場所のみ、ハドリリングシステム併用の油圧式杭圧入引抜機による打込み、引抜きを行うという理解でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>
8	<p>2024年1月16日の質疑回答6にて、構造物裏込め工 裏込め工 B の材料は購入材を使用するとの回答を頂いております。 裏込め工 B の使用材料は、特記仕様書 P31 21-1 再生資材の使用の表に記載がないため、再生材でないという解釈でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>裏込め工 B の材料指定はしませんので、土木工事共通仕様書 2-8-7 に記載のとおり施工管理要領の規定を満足する材料を使用ください。</p>
9	<p>割掛対象表参考内訳書 P1 の仮設材運搬費には、中古仮設材の運搬費用についてどのように理解し見積りを行えばよろしいのでしょうか。ご教示願います。 ①運搬費未計上 ②片道分の運搬費計上 ③往復分の運搬費計上</p>	<p>積算及び割掛対象表参考内訳書に関する質問にはお答えできませんので、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上ください。</p>

10	補強土壁工(ジオキスタイル補強土壁工)には、設計図(10/12)図面番号101/273の数量表に記載されている、[仮設防護柵設置]、[大型土のう]の費用も含まれていると理解すればよろしいでしょうか。ご教示願います。	仮設防護柵設置は単価表269「仮設防護柵 設置」、大型土のうは単価表266「大型土のう 製作・設置」に計上しております。
11	設計図(10/12) 図面番号101/273の数量表に記載されている、[仮設防護柵設置]、[大型土のう]について、上記2項目の『撤去』費用は本工事では未計上と理解致しますが間違いはないでしょうか。ご教示願います。	そのとおりです。
12	設計図(10/12) 図面番号101/273の数量表に記載されている、[仮設防護柵設置]について、材料は新材での計上でしょうか。ご教示願います。	特記仕様書30-29(2)の区分内容に記載のとおり、貸与品です。
13	設計図(10/12) 図面番号101/273の数量表に記載されている、[大型土のう]について、耐候性での計上でしょうか、耐候性の場合『1年』と『3年』どちらのタイプでの計上でしょうか。併せてご教示願います。	特記仕様書30-39(2)の区分内容に記載のとおり、耐候性(3年耐候)です。
14	設計図(10/12) 図面番号101/273の数量表に記載されている、[大型土のう]について、中詰め材は『流用土』と『購入材』のどちらでしょうか。ご教示願います。	特記仕様書30-39(2)の区分内容に記載のとおり、監督員の指示した現地発生土です。
15	用・排水管 P(H)・2・φ0.30(Sd-B)について、作業土工の費用は計上されますでしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
16	用・排水管 P(P0-B)・φ0.40(Sd-B)について、作業土工の費用は計上されますでしょうか。ご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。

17	<p>特記仕様書 P39 に記載されている本線部の区間の横断図から土砂の数量を算出したところ、数量明細書の数量と一致しません、本線部以外の数量も含まれているのでしょうか、数量に間違い等はないのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>土配計画については開示しませんので、貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
18	<p>コンクリート基礎 B(F)、C(F)について、本工事では軟岩部の計画もあるように思われますが、(F)表示があるため全ての基礎延長全て基礎材ありとして計上されていると理解致しますが間違いないでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>
19	<p>用・排水管「P(Po-B)・Φ0.30~0.60(Sd-B)」について、各排水管据付けの掘削深をご教示願います。</p>	<p>用排水構造物標準設計図集及び設計図（参考図）の排水系統図を参照の上、貴社にて算出してください。</p>
20	<p>設計図（9/12） 図面番号 63/81 の数量総括表に記載されている、[鉄筋 C] の鉄筋規格は「D16~D25」となっているが、設計図（9/12）図面番号 71/81 の L 型擁壁配筋図(6) (71/81)では「D32」となっている。どちらの規格が正しいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>令和6年3月12日掲載「訂正公告1」を参照ください。 訂正した設計図（9/12） 附帯工 63/81 に記載のとおりです。</p>
21	<p>トンネル掘削に含まれる軽微な鏡吹付けについて、本坑及び避難連絡坑ともに強度は高強度の『36N/mm2以上』でしょうか。ご教示願います。</p>	<p>そのとおりです。</p>

2 2	<p>今まで回答を頂いている中で、工事中用機械分解組立費は〇〇工の単価項目に含まれるものとしてお考えくださいという回答が複数ございますが、そのまま解釈すると対象の契約項目つまり直工に計上してくださいと理解出来るのですが、その場合、対象の契約項目に計上した『工事中用機械分解組立費』も共通仮設費率の対象額として計上されているという理解でよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
2 3	<p>特記仕様書 30-20 ずり処理工において、ずり処理工 C1 及び C2 の” 昼間にずり処理をおこなうもの” の説明に、” 坑口前の所定の場所に仮置きする” という文言が有りませんが、昼間はそれぞれ前里地区、虫内地区へ、切羽から（坑口前に仮置きせず）直送で考えているという理解でよろしいでしょうか。ご教示願います。</p>	<p>令和5年12月1日掲載「質問に対する回答について⑦」質問番号8に対する回答のとおりです。</p>
2 4	<p>【訂正】06-08_設計図（土渕トンネル）の66/38に防水シート（シール）とありますが、どの単価項目に計上したらよろしいでしょうか。</p>	<p>令和6年3月7日掲載「質問に対する回答について⑩」質問番号3に対する回答のとおりです。</p>
2 5	<p>トンネルの詳細設計（閲覧資料）によると、坑門工の継目工に発泡スチロールが計上されていますが、単価項目「6-(1) 継目工 I型」に計上すると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>継目工 I型に発砲スチロールは計上しません。なお、施工に伴い必要な場合は、別途監督員と協議するものとお考えください。</p>

26	<p>【訂正】06-02_設計図（溝渠工（函渠工・管渠工））において、          STA. 138+00（湯田-21C-Box）C-Bx-4.70          ×5.25 一般図（1）[図面 1/67]、          STA. 148+40（湯田-22C-Box）C-Bx-3.50          ×4.00 一般図（1）[図面 17/67]、          STA. 171+29（湯田-27C-Box）C-Bx-2.50          ×3.00 一般図（1）[図面 38/67]、          の継目工詳細図に、「内側の目地材          は、施工後撤去する」とありますが、          各数量を教えてくださいませんか。</p>	<p>設計要領第二集 カルバート建設編を参          照の上、各設計図より貴社にて算出して          ください。</p>
27	<p>・設計図（2/12）溝渠工 62/67 一          般図（1）          標準横断面図に記載のある受け台の長さ          （管延長方向）をご教示ください。</p>	<p>延伸する C-P(RC) II φ1.50 と同値です。</p>
28	<p>・設計図（2/12）溝渠工 62/67 一          般図（1）          標準横断面図にセラミックアンカーM10          の記載がありますが、上段は500mm間          隔、下段は1000mm間隔となっていま          す。それでよろしいでしょうか。</p>	<p>そのとおりです。</p>
29	<p>・設計図（8/12）土掘トンネル          35/83、36/83 補助工法一般図（1）          （2）          小口径長尺鋼管先受け工材料表に「縞          付鋼管」と記載があります。参考積算          条件書にて小口径長尺鋼管先受工に計          上する「パノラマ鋼管」の単価が公表          されましたが、パノラマ鋼管は縞付鋼          管ではありませんが、こちらの単価が          計上されていると考えてよろしいでし          ょうか。</p>	<p>名称は「パノラマ鋼管」としていま          す          が、仕様は設計図に記載している材料単          価になります。</p>

30	<p>・設計図 (8/12) 土渕トンネル 36/83 補助工法一般図 (2)</p> <p>DⅢa(H)-M-Kの詳細図に、「全横スリット」と記載があります。参考積算条件書にて公表されたパノラマ鋼管は、端末管のみ「スリットあり」となっています。DⅢa(H)-M-Kの小口径長尺鋼管先受工の先頭管、中間管は、公表された単価でなく「スリットあり」の単価が計上されているのでしょうか。</p>	<p>積算に関する質問にはお答えできません。</p>
31	<p>・参考積算条件書 1.材料価格 ③一般的な材料</p> <p>高密度ポリエチレン管の1m当り単価が公表されましたが、重ね代を考慮した有効長1m当りの単価でしょうか。違う場合、重ねによるロス率をご教示ください。</p>	<p>重ね代を考慮した単価ではありません。なお、重ねによるロス率は貴社の施工計画に基づきお考えください。</p>
32	<p>本日3月6日に公表となった材料単価の中に生コンクリートB2-1(1)の名称がございません。</p> <p>令和6年2月9日㉔-28に記載のとおり当該生コンクリートは30N配合ですが、B2-1と同価格という解釈でしょうか。</p>	<p>単価についての質問にはお答えできません。</p>